ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ホテル概論ＩＡ						学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得							
授業内容	ホテル産業の基礎的知識を学習する							
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門（す							
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編							

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第1章 ホテルの基礎　ホテルとは	【事前】	ホテル産業について予習
		【事後】	ホテル調査
2	第1章 ホテルの基礎　欧米の歴史	【事前】	欧米のホテルの歴史について
		【事後】	ホテル調査のレポート提出
3	第1章 ホテルの基礎　日本の発展史	【事前】	日本のホテル発展史
		【事後】	課題提出
4	第1章 ホテルの基礎 部門別機能 ホテルの組織、サービスの基本	【事前】	サービスの基本
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
5	第1章 ホテルの基礎 部門別機能 ホテルの組織、関連法規	【事前】	ホテルの組織について
		【事後】	ホテル調査
6	第1章 ホテルの基礎 将来展望 今後の課題　トレンド調査	【事前】	トレンド調査
		【事後】	課題提出
7	第1章 ホテルの基礎　国際儀礼の基本	【事前】	プロトコール
		【事後】	課題提出
8	第1章 ホテルの基礎　ホスピタリティマインド	【事前】	ホテル調査
		【事後】	レポート提出
9	第1章 ホテルの基礎　ホテル関連知識	【事前】	第１章ホテルの基礎 まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
10	第2章 宿泊部門の業務 宿泊部門の概要	【事前】	宿泊部門の概要
		【事後】	課題提出
11	第2章 宿泊部門の業務　宿泊商品の特性	【事前】	宿泊部門の特性
		【事後】	課題提出
12	第2章 宿泊部門の業務　組織と業務役割	【事前】	ホテル調査
		【事後】	レポート提出
13	第2章 宿泊部門の業務　宿泊商品の基本知識	【事前】	宿泊商品
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
14	第2章 宿泊部門の業務　担当者業務	【事前】	第2章宿泊部門 まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
15	第2章 宿泊部門の業務　まとめ	【事前】	第1章・2書のまとめ
		【事後】	前期期末試験

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出
	2. 授業姿勢　30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視ー私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組
	3. テストその他　40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ホテル概論ＩＢ						学期	後　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門（す								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								

週数	授業計画	事前･事後の学習	
1	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の特性	【事前】	料飲部門の特性
		【事後】	課題提出
2	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の組織	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	レポート提出
3	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の業務役割	【事前】	料飲部門の基本知識
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
4	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の基本知識	【事前】	料飲部門の業務
		【事後】	課題提出
5	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の担当業務	【事前】	料飲部門の実務
		【事後】	ホテル・旅館調査
6	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務
		【事後】	小テスト
7	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務
		【事後】	レポート提出
8	第3章 料飲部門の業務 第3章のまとめ	【事前】	料飲部門のまとめ
		【事後】	第3章テスト
9	第4章 宴会部門の業務　宴会商品の特性	【事前】	宴会部門の特性
		【事後】	課題提出
10	第4章 宴会部門の業務　宴会部門の組織	【事前】	宴会部門の組織と業務役割
		【事後】	小テスト
11	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の業務	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	課題提出
12	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の組織と業務役割
		【事後】	小テスト
13	第4章 宴会部門の業務　宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の実務
		【事後】	課題提出
14	第4章 宴会部門の業務 まとめ　宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の担当者業務
		【事後】	小テスト
15	第4章 宴会部門の業務 まとめ	【事前】	第3章・4章まとめ
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出
	2. 授業姿勢　30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組
	3. テストその他 40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定･課外授業実施予定･その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　２　年

科 目 名	ホテル概論ⅡA							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目標	ホテルに関する基礎知識を習得し、「ホテルビジネス実務検定ベーシック２級」に合格する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								

週数	授業計画	事前･事後の学習	
1	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 制約要件からくる特性	【事前】	調理部門の特性
		【事後】	課題提出
2	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 メニュー開発・経費から見たの特	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	レポート提出
3	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 調理部門の組織	【事前】	調理部門の組織
		【事後】	小テスト
4	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 料理部門の業務	【事前】	メイン・宴会・レストラン・製菓の各業務
		【事後】	課題提出
5	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務 調理の種類・施設・設備・備品の	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	レポート提出
6	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務 西洋料理の基礎知識	【事前】	西洋料理の基礎知識
		【事後】	小テスト
7	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務
		【事後】	課題提出
8	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務
		【事後】	小テスト
9	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務
		【事後】	第5章 調理部門のまとめ
10	第5章 調理部門のまとめ	【事前】	第5章の復習
		【事後】	小テスト
11	第1章・2章の復習	【事前】	練習問題
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
12	第3章・4章の復習	【事前】	練習問題
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
13	検定試験対策　1章・2章	【事前】	練習問題
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
14	検定試験対策　3章・4章	【事前】	練習問題
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
15	検定試験対策　5章	【事前】	復習問題
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出
	2. 授業姿勢　30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組
	3. テストその他　40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定･課外授業実施予定･その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ＦＢ実習ＩＡ							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	個人サーヴが出来る								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	接客の基本 レストランサービス要員に求められる資質 ・身体的資質 ・知的資質
2	接客の基本 職務上の容姿、服装 ・制服 ・身だしなみ
3	レストランサービス トレイサービス・オーダーのとり方
4	レストランサービス トレイサービス・オーダーのとり方
5	レストランサービス 調理方法+パンサービス
6	レストランサービス 調理方法+パンサービス
7	レストランサービス ドリンク（ワイン）+抜栓
8	レストランサービス ドリンク（ワイン）+抜栓
9	テーブルマナー
10	テーブルマナー
11	テーブルマナー
12	テーブルマナー
13	テーブルマナー
14	テーブルマナーテスト
15	サービステスト（個人）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する
	2. 授業姿勢　30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する
	3. テストそ(　40 %	レポート、テスト結果等を評価する
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他		

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ＦＢ実習ＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	チームサーヴが出来る								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	バーのサービス カクテルの種類
2	カクテルサービス シェーク ビルド ステア
3	カクテルサービス シェーク ビルド ステア
4	オリジナルカクテルサービス
5	オリジナルカクテルサービス
6	宴会の流れ ビール瓶持ち方（置き方）
7	宴会の流れ ビール瓶持ち方（置き方）
8	円卓クロスの敷き方 卓上セッティング（フルコース）
9	円卓クロスの敷き方 卓上セッティング（フルコース）
10	個人１卓セット⇒チーム　効率・目標
11	個人１卓セット⇒チーム　効率・目標
12	テスト（グループ）宴会タイムコントロール
13	テスト（グループ）宴会タイムコントロール
14	テスト（グループ）レストランタイムコントロール フィードバック
15	テスト（グループ）レストランタイムコントロール フィードバック

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する
	2. 授業姿勢　30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する
	3. テストそ(　40 %	レポート、テスト結果等を評価する
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	ＦＢ実習ⅡＡ							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	メニュー考案 ・市場調査 ・コンセプト
2	メニュー考案 ・提案書作成
3	提案書の発表
4	レストラン運営 ・商品化計画
5	苦情処理 ・料飲接遇サービスにおける苦情処理
6	苦情処理 ・受客の拒否 ・スキッパーなど
7	レストラン運営 ・セールス ・販売促進、広報
8	サービス実技トレーニング シミュレーション
9	サービス実技トレーニング シミュレーション
10	ランチイベント リハーサル
11	ランチイベント
12	ランチイベント
13	ランチイベント
14	ランチイベント
15	ランチイベント振返り

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する
	2. 授業姿勢 30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する
	3. テストそ(40 %	レポート、テスト結果等を評価する
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　２　年

科 目 名	ＦＢ実習ⅡＢ							学期	後　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	「食」イベントの企画・運営								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	メニュー考案
2	メニュー考案 ・提案書作成
3	提案書の発表
4	イベント ・セールス ・販売促進、広報
5	イベント ・セールス ・販売促進、広報
6	イベント ・セールス ・販売促進、広報
7	サービス実技トレーニング シミュレーション
8	サービス実技トレーニング シミュレーション
9	サービス実技トレーニング シミュレーション
10	イベント リハーサル
11	イベント リハーサル
12	「食」のイベント運営
13	「食」のイベント運営
14	「食」のイベント運営
15	イベント振返り

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する
	2. 授業姿勢 30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する
	3. テストそ(40 %	レポート、テスト結果等を評価する
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ブライダル総論ＩＡ							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	ウェディングプランナーとして必要な基礎知識を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	AWP検定に合格し、ブライダル業務全般を理解する								
使用テキスト									

週数	授業計画	事前･事後の学習	
1	ヒューマン概論・歴史概論	【事前】	ブライダル産業について予習
		【事後】	ブライダル調査
2	言語概論・プレゼンテーション	【事前】	結婚式の歴史について
		【事後】	ブライダル調査のレポート提出
3	接客概論・ロールプレイング	【事前】	結婚式の発展
		【事後】	課題提出
4	実務概論	【事前】	サービスの基本
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
5	タイムスケジュール・見積書	【事前】	結婚式の組織について
		【事後】	ホテル調査
6	テーブルプラン	【事前】	トレンド調査
		【事後】	課題提出
7	席次表と続柄	【事前】	トレンド調査
		【事後】	課題提出
8	オリジナルプラン作成	【事前】	結婚式場調査
		【事後】	レポート提出
9	オリジナルプラン提案	【事前】	まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
10	クリエイティブ概論	【事前】	結婚式場調査
		【事後】	課題提出
11	広告・企画概論	【事前】	ブライダル商品
		【事後】	課題提出
12	経済概論	【事前】	ブライダル商品
		【事後】	レポート提出
13	披露宴の役割	【事前】	ブライダル商品
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
14	披露宴の役割	【事前】	第2章宿泊部門 まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
15	模擬披露宴	【事前】	まとめ
		【事後】	前期期末試験

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	実習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストその他　40 %	期末テスト
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ホテル概論ＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する								
使用テキスト									

週数	授業計画	事前･事後の学習	
1	ブライダルに関わる人々の役割	【事前】	サービス部門の特性
		【事後】	課題提出
2	ブライダルストーリー：集客・告知	【事前】	ホテル結婚式調査
		【事後】	レポート提出
3	ブライダルストーリー：計画の基礎（マーケティング）	【事前】	サービス部門の基本知識
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
4	ブライダルストーリー：ビジネスパートナー選定	【事前】	プランナーの業務
		【事後】	課題提出
5	ブライダルストーリー：ブライダル現場における用語、必要知識の理解	【事前】	プランナーの実務
		【事後】	ホテル結婚式調査
6	ブライダルストーリー：プランニング・コンセプトシート作成	【事前】	プランナーの実務
		【事後】	小テスト
7	ブライダルストーリー：会場レイアウト・会場装飾プランニング	【事前】	プランナーの実務
		【事後】	レポート提出
8	ブライダルストーリー：コンセプトシートプレゼンテーション	【事前】	まとめ
		【事後】	小テスト
9	ブライダルストーリー：婚礼見積書の作成	【事前】	プロデューサーの特性
		【事後】	課題提出
10	ブライダルストーリー：新規接客の基本・ロールプレイング	【事前】	プロデューサー業務の役割
		【事後】	小テスト
11	ブライダルストーリー：パートナー選定、パートナーとのキックオフミー	【事前】	ホテル結婚式の調査
		【事後】	課題提出
12	ブライダルストーリー：婚礼打合せ① 全体説明、見積り、招待状、各種	【事前】	プロデューサー業務の役割
		【事後】	小テスト
13	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務① 招待状の発注、各種手配	【事前】	プランナー以外の実務
		【事後】	課題提出
14	ブライダルストーリー：婚礼打合せ②の準備 コンセプトシート、プランニング基礎作成　料理、飲料、装花装飾、演出、写真、映像、引出物等	【事前】	プランナー以外の業務
		【事後】	小テスト
15	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務② 書類作成、各種手配	【事前】	まとめ
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための情報、
	2. 授業姿勢　30 %	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力
	3. テストその他　40 %	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案書
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他		

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	ホテル概論ⅡA						学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する							
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ							
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する							
使用テキスト								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	ブライダルストーリー：ビジネスパートナーとの情報共有	【事前】	ブライダルのトレンド
		【事後】	課題提出
2	ブライダルストーリー：ビジネスパートナーとの情報共有	【事前】	ブライダルのトレンド
		【事後】	レポート提出
3	ブライダルストーリー：婚礼会場との打合せ、情報共有	【事前】	ブライダルのトレンド
		【事後】	小テスト
4	ブライダルストーリー：婚礼打合せ③の準備 最終版資料作成、手配先確	【事前】	ブライダルのトレンド
		【事後】	課題提出
5	ブライダルストーリー：婚礼打合せ③ 司会打合せ、当日に向けての最終	【事前】	フォトウエディング
		【事後】	レポート提出
6	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務③ 書類作成、各種手配	【事前】	フォトウエディング
		【事後】	小テスト
7	ブライダルストーリー：最終確認 パートナー個別最終打ち合わせ	【事前】	フォトウエディング
		【事後】	課題提出
8	ブライダルストーリー：最終確認 リハーサル	【事前】	フォトウエディング
		【事後】	小テスト
9	ブライダルストーリー：最終確認 会場・パートナー打合せ	【事前】	レストランウエディング
		【事後】	まとめ
10	ブライダルストーリー：搬入、準備	【事前】	レストランウエディング
		【事後】	小テスト
11	ブライダルストーリー：前日リハーサル・会場確認・手配物確認	【事前】	レストランウエディング
		【事後】	検定問題
12	ブライダルストーリー：本番	【事前】	練習問題
		【事後】	検定問題
13	ブライダルストーリー：反省会 オペレーション、業績、改善案	【事前】	練習問題
		【事後】	過去問
14	ブライダルストーリー：ビジネスパートナーとの反省会 次年度への引き	【事前】	練習問題
		【事後】	過去問
15	ブライダルストーリー：振返りディスカッション	【事前】	復習問題
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための情報、
	2. 授業姿勢　30 %	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力
	3. テストその他 40 %	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案書
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	

ホテル･ブライダル 学科　　1　年

科 目 名	ホテル実用英語 ＩＡ							学期	前　期
担当教員	黒田 康子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテルにおける各現場（フロント・レストラン・客室等）で想定される場面において、接客サービスで必要な基礎的な語彙・表								
授業内容	ホテルスタッフと顧客とのロールプレイ形式を中心としたアウトプット型の演習								
学習目標	ホテルにおける各現場における接客サービスで必要な基礎的な語彙・表現に習熟し、読む・聞く・話す・書くことができるよう								
使用テキスト	Hotel & Hospitality English by Mike Deymour, Harper Collins を軸に、適宜、補助プリント等を使用する								

週数	授業計画
1	・オリエンテーション：①「授業の目的と目標」②「英語学習における基本的姿勢」③「アクティブラーニングとは」④「ＷＥＢ学習
2	Unit 1: Welcoming Guests
3	Unit 2: Welcoming Guests with no reservation
4	Unit 3: "Difficult" Guests
5	Unit 4: Looking after Guests (1)
6	Unit 5: Looking after Guests (2)
7	Unit 6: Reservation Inquiries
8	Unit 7: Reservation changes
9	Unit 8: Phone Calls to Reception
10	Unit9: Communication Problems
11	Unit 10: Gues Problems
12	Unit 11: At Breakfast
13	Unit 12: At the Bar
14	Unit 13: Complaints from Guests at the Bar
15	Unit 14: In the Restaurant (1)

	評価項目/割合	評 価 内 容
評 価 基	１．課 題　40 %	指定する課題（ロールプレーによる発表を含む）への取り組み状況を評価します
	２．授業姿勢 30 %	出欠および授業への参加姿勢を評価します
	３．テストそ 30 %	毎回の授業で行うミニテストの結果を評価します
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実	テキストの各ユニットのロールプレーが中心ですが、そのほかに、以下の演習を行います。①発音クリニック②簡単な読み物による "F	

ホテル･ブライダル 学科　　1　年

科 目 名	ホテル実用英語 ＩＢ							学期	後　期
担当教員	黒田　康子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテルにおける各現場（フロント・レストラン・客室等）で想定される場面において、接客サービスで必要な基礎的な語彙・								
授業内容	ホテルスタッフと顧客とのロールプレイ形式を中心としたアウトプット型の演習								
学習目標	ホテルにおける各現場における接客サービスで必要な基礎的な語彙・表現に習熟し、読む・聞く・話す・書くことができるよ								
使用テキスト	Hotel & Hospitality English by Mike Deymour, Harper Collins を軸に、適宜、補助プリント等を使用する								

週数	授業計画
1	Unit 14: In the Restaurant (1)※TOEIC Bridge Test の模擬試験による実力測定
2	Unit 15: In the Restaurant (2)
3	Unit 16: In the Restaurant (3)
4	Unit 17: Housekeeping
5	Unit 18: Housekeeping Problems
6	Unit 19: Room Service
7	Unit 20: Guest Services
8	Unit 21: In the Business Center
9	Unit 22: Recommendations for places to eat
10	Unit 23: Checking Out
11	Unit 24: Problems in Checking Out
12	Review by Resouece Bank: Key Phrases, Key Words
13	Review by Resouece Bank: How do I say . . . ?
14	Review by Resouece Bank: On the Phone
15	Review by Resouece Bank: Model Emails

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	１．課 題　40 %	指定する課題（ロールプレーによる発表を含む）への取り組み状況を評価します
	２．授業姿勢 30 %	出欠および授業への参加姿勢を評価します
	３．テストそ 30 %	毎回の授業で行うミニテストの結果を評価します
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
外授業実	テキストの各ユニットのロールプレーが中心ですが、そのほかに、以下の演習を行います。①発音クリニック②簡単な読み物による	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	オンライン国際協働学習ⅡA							学期	後　期
担当教員	三宅　可倫	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	①異文化理解②英語コミュニケーション力向上③プレゼンテーション力向上④企画、提案力向上								
授業内容	海外の学生と、共通のテーマで課題解決を実施し、企画案をプレゼンテーションする（英語使用）								
学習目標	国際交流の場で英語で相手の話を理解できる。自分の考えを海外の学生に伝えることができる。海外の学生の異なる視点や考えを知る。								
使用テキスト	授業時に資料を配布								

週数	授業計画
1	学内　イントロダクション:国際交流準備
2	With The World　海外生とアイスブレーク、自己紹介、地域の紹介
3	学内　テーマに基づいたインタビュー項目と質問文作成　※この期間に相互に試食
4	学内　テーマに基づいたインタビュー項目と質問文作成　※この期間に相互に試食
5	With The World　海外生へインタビュー
6	学内　企業向けに商品提案作成　併行し海外生も商品提案作成（役割分担）
7	同上
8	With The World　商品提案①
9	学内　商品提案①にもとづいたブラッシュアップ　併行し海外生も商品提案作成（役割分担）
10	同上
11	With The World　商品提案②
12	学内　商品提案②にもとづいたブラッシュアップ　併行し海外生も商品提案作成（役割分担）
13	同上
14	With The World　企業への最終プレゼンテーション　→With The World 1~2週間 Instagramで最終発表発信　いいね賞(1週間掲載)
15	学習ふりかえり②

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 、受講マナー、聞き方、質問・発言 、忘れ物の有無
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表内容、学習成果総括レポート
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		

目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります

ホテル・ブライダル　　1　年

科 目 名	TOEIC L&R Ⅰ A							学期	前　期
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	This course aims to have the students prepared for the TOEIC L&R Test by covering a variety of business scenes with both casual and for								
授業内容	The students will build vocabularies and deepen their grammatical understandings while becoming familiar with the topics dealt with in the t								
学習目標	Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class will be 550 out of 990 points, while the target range may vary from 300 to 400.								
使用テキスト	はじめてのTOEIC L&R きほんのきほん								

週数	授業計画
1	実践！サンプル問題
2	Lesson　1 – for Part 2 文のはじめの5Ws&Howを聴き取る
3	Lesson　2 – for Part 1 be動詞の直後の「動作」「状態」を写真中に確認
4	Lesson　3 – for Part 1 写真と矛盾した要素が1つでもあればその選択肢は誤り
5	Lesson　4 – for Part　2 「許可」「依頼」「提案」「申し出」は質問・応答の典型をセットで覚える
6	Lesson　5 – for Part 2 各問いかけごとの「よくある」「ありえない」応答を押さえる
7	Lesson　6 – for Part 5 「意味」だけでなく「形」に注目！
8	まとめと振り返り
9	Lesson　7 – for Part 1 r動作」と「状態」の違いで正解を見抜く
10	Lesson　8 – for Part 5&6 キーワードを探して正しい時制を見抜く
11	Lesson　9 – for Part 5 品詞を攻略しよう
12	Lesson　10 – for Part 5 to do形, – ing形, – ed/en形の使われるパターンを押さえる一
13	Lesson　11 – for Part 1&2 「音のひっかけ」に注意!
14	Lesson　12 – for　Part 3&4 典型的な設問と3問の設問の流れを覚える
15	まとめと振り返り

評価基準			
	1. 課 題	30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	2. 授業姿勢	30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	3. テストその他	40 %	Tests: Review quizzes after completing each unit
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		

目標検定・課外授業実施予定・その他	The teacher will adopt various extra activities to enhance the students' motivation, vocabulary, understanding of grammar, and listening skills. The students will take a TOEIC L&R Test in January 2023.

ホテル・ブライダル　　1　年

科 目 名	TOEIC L&R ⅠB							学期	後　期
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	This course aims to have the students prepared for the TOEIC L&R Test by covering a variety of business scenes with bc								
授業内容	The students will build vocabularies and deepen their grammatical understandings while becoming familiar with the topics c								
学習目標	Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class will be 550 out of 990 points, while the target range may vary from 300 to 400.								
使用テキスト	はじめてのTOEIC L&R きほんのきほん								

週数	授業計画
1	Lesson 13 – for Part 3: 会話の全体構造を理解する
2	Lesson 14 – for Part 4: トークの全体構造と頻出トピックを押さえる
3	Lesson 15 – for Part 7: 典型的な問題文と答えのヒントとなるフレーズを攻略
4	Lesson 16 – for Part 7: Part 7の頻出トピック・文書形式に慣れよう
5	Lesson 17 – for Part 5&6: 代名詞のチェックポイントは2つ!
6	Lesson 18 – for Part 5&6: 形容詞節のチェックポイントも2つ!
7	Lesson 19 – for Part 5&6: 相関語句は片方の語句がヒントとなる
8	Lesson 20 – for Part 5&6: 接続詞系の問題は空所の後ろに「主語+動詞」があるか確認
9	Lesson 21 – for Part 7: Scanningを身につけよう
10	Lesson 22 – for Part 3&4: 図表問題の解き方
11	Lesson 23 – for Part 7: Multiple Passage
12	Lesson 24 – for Part 6: 文章の展開パターンを押さえよう
13	Lesson 25 – for Part 7: 代名詞や限定詞が生む「つながり」に注意しよう
14	Lesson 26 – for Part 3&4, Part 7: Meaning in Context文脈を読み取る
15	Lesson 27–for Part 3, Part 7: 口語的なやり取りに慣れよう

	評価項目/割合	評 価 内 容
評 価 基 準	1. 課 題　30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	2. 授業姿勢　30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	3. テストその他　40 %	Tests: Review quizzes after completing each unit
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	The teacher will adopt various extra activities to enhance the students' motivation, vocabulary, understanding of grammar, and listening skills. The students will take a TOEIC L&R Test in January 2023.	

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	2 年

科 目 名	TOEIC L&R IIA							学期	前	期
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	This course aims to have the students prepared for the TOEIC L&R Test by covering a variety of business scenes with both									
授業内容	The students will build vocabularies and deepen their grammatical understandings while becoming familiar with topics dealt wi									
学習目標	Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class will be 700 out of 990 poir									
使用テキスト	Work Advantage – Concept, Practice, Reality: Book 1									

週数	授業計画
1	1 Team Spirit
2	Unit 2 Forming aTeam
3	Unit 3 Working with the World
4	Review 1 (Units 1-3)
5	Unit 4 Business Strategies
6	Unit 5 Understanding Your Customers
7	Unit 6 Work Smart
8	Review 2 (Units 4-6)
9	Unit 7 Corporate Image
10	Unit 8 Company Profits
11	Unit 9 Tactical Decisions
12	Review 3 (Units 7-9)
13	Unit 10 Human Resources
14	Unit 11 Entrepreneurship
15	Unit 12 The Future of Business

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	1. 課 題 30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	2. 授業姿勢 30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	3. テストその 40 %	Tests: Review quizzes after completing three units
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
外授業実施	The students will take a TOEIC L&R Test in January 2026	

ホテル・ブライダル　　1　年

科 目 名	TOEIC S&W Ⅰ A							学期	前　期
担当教員	黒田 康子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	This course aims to have the students prepared for the TOEIC S&W Test by covering a variety of global scenes.								
授業内容	The students will build vocabularies while increasing their readiness for the TOEIC S&W Test								
学習目標	Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class will be 150 out of 400 points.								
使用テキスト	Globe Trotters – Practical English with Video								

週数	授業計画
1	Unit 1: Spain Video: The sights and sounds of Spain–beautiful cities, grand palaces, guitar players, and flamenco dancers
2	Unit 1: Spain Travel Adventures: At the Airport
3	Unit 2: China Video: Pandas young and old, filmed in zoos and in the wilds of China–including rare footage of newly-born cubs
4	Unit 2: China Travel Adventures: From the Airport
5	Reivew
6	Unit 3: Peru Video: A tour of some of the most stunning places in Peru–Cusco, Machu Picchu, and the mysterious Nazca lines Travel Adventures: At the Hotel
7	Unit 3: Peru Travel Adventures: At the Hotel
8	Unit 4: Tokyo Video: A portrait of life in modern Tokyo–fast trains, high-tech cell phones, and bright city lights Travel Adventures: Describing Tokyo
9	Unit 4: Tokyo Travel Adventures: Describing Tokyo
10	Review
11	Unit 5: New York City Video: A tour of one of the world's most exciting cities --- on the streets, in the air, and underground
12	Unit 5: New York City Travel Adventures: Getting Directions
13	Unit 6: Antarctica Video: The natural wonders of the Earth's coldest, driest, and windiest continent–truly a land of extremes
14	Unit 6: Antarctica Travel Adventures: Health Problems
15	Review

評価基準			
	1. 課 題	30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	2. 授業姿勢	30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	3. テストその他	40 %	Tests: Review quizzes after completing each unit
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		

目標検定・課外授業実施予定・その他	The teacher will adopt various extra activities to enhance the students' motivation, vocabulary, understanding of grammar, and listening skills. The students will take a TOEIC L&R Test in January 2023.

ホテル・ブライダル　　1　年

科 目 名	TOEIC S&W ＩB							学期	後　期
担当教員	黒田　康子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	This course aims to have the students prepared for the TOEIC S&W Test by covering a variety of global scenes.								
授業内容	The students will build vocabularies while increasing their readiness for the TOEIC S&W Test								
学習目標	Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class will be 150 out of 400 points.								
使用テキスト	Globe Trotters – Practical English with Video								

週数	授業計画
1	Unit 7 India Video: From the Himalayas to the sea, an amazing mix of geography, peoples, languages, and customs India provides
2	Unit 7 India Travel Adventures: Shopping
3	Unit 8 New Zeatand Video: Bungee jumping,jet boating, zorbing...A tour of New Zealand, a country that is famous for its extremely living
4	Unit 8 New Zeatand Travel Adventures: One Day Excursions
5	Unit 9 Africa Video: The sights and sounds of one of the world's most beautiful natural environment-Southern Africa
6	Unit 9 Africa Travel Adventures: Running into Problems
7	Unit 10 Cambodia Video: The history of Angkor-it was once the world's biggest city, but over time it was lost in the jungle
8	Unit 10 Cambodia TravelAdventures: Bargaining
9	Unit11 Egypt Video: Traveling back in time to discover one of the Wonders of the World: Egypt's Pyramids of Giza
10	Unit11 Egypt TravelAdventures: HomeVisit
11	Unit 12 Italy Video: Visit to some of the world's most active volcanoes-windows to a boiling hot world beneath the Earth's surface
12	Unit 12 Italy Travel Adventures: At a Restaurant
13	Unit 13 Mars Video: Discoveries of two robot rovers that landed on Mars in 2004
14	Unit 13 Mars Travel Adventures: Saying Good-bye
15	Review

	評価項目/割合		評 価 内 容
評 価 基 準	1. 課 題	30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	2. 授業姿勢	30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	3. テストその他	40 %	Tests: Review quizzes after completing each unit
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		

目標検定･課外授業実施予定･その他	The teacher will adopt various extra activities to enhance the students' motivation, vocabulary, understanding of grammar, and listening skills. The students will take a TOEIC L&R Test in January 2023.

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	2 年

科 目 名	TOEIC S&W Ⅱ A							学期	前	期
担当教員	黒田 康子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	This course focuses on practical English in our daily lives. It aims to brush up on speaking and writing skills in particular.									
授業内容	The language areas presented are taught within a comunicative framework and most of the activities are student-centered with pair w									
学習目標	The goal is to gain communicative competence in basic daily conversations with spontaneity.									
使用テキスト	English Firsthand Book 1 with My Mobile World_Student Book / Whaddaya Say?									

週数	授業計画
1	English Firsthand, Book 1 Unit 1: It's nice to meet you.
2	English Firsthand, Book 1 Unit 2: Who are they talking about?
3	English Firsthand, Book 1 Unit 3: When do you start?
4	English Firsthand, Book 1 Unit 4 : Where does this go?
5	English Firsthand, Book 1 Unit 5: How do I get there?
6	English Firsthand, Book 1 Unit 6: What happened?
7	English Firsthand, Book 1 Unit 7: I'd love that job.
8	English Firsthand, Book 1 Unit 8: What's playing?
9	English Firsthand, Book 1 Unit 9: What are you going to do?
10	English Firsthand, Book 1 Unit 10: How much is this?
11	English Firsthand, Book 1 Unit 11: How do you make it?
12	English Firsthand, Book 1 Unit 12: Listen to the music.
13	English Firsthand, Book 1: Review
14	English Firsthand, Book 1: Review
15	English Firsthand, Book 1: Review

	評価項目/割合	評 価 内 容
評 価 基	1. 課 題 40 %	Assignments in My Mobile World and Passport to Work (Workbook)
	2. 授業姿勢 30 %	positive engagement in pair/group work
	3. テストその 30 %	tests in My Mobile World
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
外授業実施		

ホテル・ブライダル　　1　年

科 目 名	EIC L&S I A							学期	前　期
担当教員	黒田 康子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	This course aims to improve students' listening and speaking skills by studying the textbook and various extra activities.								
授業内容	Particular focus will be laid on listening comprehension and speaking skills.								
学習目標	Students can write down what they have heard and make oral presentations on the topics covered in the course.								
使用テキスト	English for Tourism Professionals								

週数	授業計画
1	Unit 1: Recommending a tour
2	Unit 1: Recommending a tour
3	Unit 2: Taking a tour booking
4	Unit 2: Taking a tour booking
5	Unit 3: Escorting a tour
6	Unit 3: Escorting a tour
7	Unit 4: Welcoming international tourists
8	Unit 4: Welcoming international tourists
9	Unit 5: Taking an airline reservation
10	Unit 5: Taking an airline reservation
11	Unit 6: Giving flight information
12	Unit 6: Giving flight information
13	Unit 7: Helping passengers check in
14	Unit 7: Helping passengers check in
15	Review

評価基準			
	1. 課 題	30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	2. 授業姿勢	30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	3. テストその他	40 %	Tests: Review quizzes after completing each unit
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		

目標検定・課外授業実施予定・その他	The teacher will adopt various extra activities to enhance the students' motivation, vocabulary, understanding of grammar, and listening skills. The students will take a TOEIC L&R Test in January 2025.

ホテル・ブライダル　　1　年

科 目 名	EIC L&S I B							学期	前　期
担当教員	黒田　康子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	This course aims to improve students' listening and speaking skills by studying the textbook and various extra activities.								
授業内容	Particular focus will be laid on listening comprehension and speaking skills.								
学習目標	Students can write down what they have heard and make oral presentations on the topics covered in the course.								
使用テキスト	English for Tourism Professionals								

週数	授業計画
1	Unit 8: Working at the boarding gate
2	Unit 8: Working at the boarding gate
3	Unit 9: Offering in-fiight services
4	Unit 9: Offering in-fiight services
5	Unit 10: Giving CIQ information
6	Unit 10: Giving CIQ information
7	Unit 11: Taking a room reservation
8	Unit 11: Taking a room reservation
9	Unit 12: Welcoming guests
10	Unit 12: Welcoming guests
11	Unit 13: Helping guests
12	Unit 13: Helping guests
13	Unit 14: Dealing with complaints
14	Unit 14: Dealing with complaints
15	Unit 15: Sending guests off

評価基準		
	1. 課 題　30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	2. 授業姿勢　30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	3. テストその他　40 %	Tests: Review quizzes after completing each unit
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・その他	The teacher will adopt various extra activities to enhance the students' motivation, vocabulary, understanding of grammar, and listening skills. The students will take a TOEIC L&R Test in January 2025.

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	2 年

科 目 名	EIC L&S ⅡA							学期	前	期
担当教員	黒田　康子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2	
学習目的	ビジネスシーンにおける英語発信力を磨く									
授業内容	さまざまなビジネスシーンに特有な語彙・表現等について学び、使いこなせるまでにマスターする									
学習目標	ビジネスシーンに特有な語彙・表現等に習熟し、それらを使って、シーンに応じて自分の考えや思いを表現できるようにする									
使用テキスト	English at Work 3, Cengage Learning									

週数	授業計画
1	(EW),Unit 1 Communication on the Phone: Meeting (Re)arrangements
2	(EW),Unit 2 Introducing Companies and Products: Consumer Problems
3	(EW),Unit 3 Cocializing with Confidence: Icebreaking, Do's and Don'ts
4	Review and Presentation
5	(EW),Unit 4 JobInterviews:InterviewSkills
6	(EW),Unit 5 Business Writing: Advertising
7	(EW),Unit 6 Job Hunting: Looking Online
8	(EW),Unit 7 Powerful Presentations: Pitching
9	(EW),Unit 8 Participating in a Meeting: Wrapping Things Up
10	Review and Presentation
11	(EW),Unit 9 Negotiating for Success: Making a Deal
12	(EW),Unit 10 Traveling on Business: Trade Shows
13	(EW),Unit 11 Technology: :Social Media
14	(EW),Unit 12 Solving Problems: Business Problems
15	Review and Presentation

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	1. 課 題　30 %	各単元の語彙・表現について、自分で文を作り、発言できるようにする
	2. 授業姿勢　30 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れないで発話しようと
	3. テストその　40 %	各単元(Unit)終了ごとに Mini Test を行います
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
外授業実施		

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください(DELで消去)**　　1　年

科 目 名	サービス接遇ＩＡ							学期	前　期
担当教員	長谷川万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する。								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ。								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する。								
使用テキスト	サービス接遇検定3級公式ガイド								

週数	授業計画
1	3級学習　サービススタッフの資質①（必要とされる要件ほか）
2	3級学習　サービススタッフの資質②（従業要件ほか）
3	3級学習　専門知識①（サービスの知識ほか）
4	3級学習　専門知識②（従業の知識ほか）
5	3級学習　一般知識（社会常識ほか）
6	3級学習　対人技能①（人間関係ほか）
7	3級学習　対人技能②（接遇知識ほか）
8	3級学習　対人技能③（話し方ほか）
9	3級学習　対人技能④（服装ほか）
10	3級学習　実務技能①（問題処理ほか）
11	3級学習　実務技能②（環境整備ほか）
12	3級学習　実務技能③（金品管理ほか）
13	3級学習　実務技能④（社交業務ほか）
14	3級学習　まとめ①
15	3級学習　まとめ②

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	演習課題への取り組み姿勢
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストその他　40 %	実技試験と期末試験の総合判定
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	サービス接遇検定　11月　検定目標3級	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	サービス接遇ＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	２級学習 専門知識 ①（サービ知識ほか）
2	２級学習 専門知識 ②（従業知識ほか）
3	２級学習 一般知識（社会常識ほか）
4	２級学習 対人技能 ①（人間関係ほか）
5	２級学習 対人技能 ②（接遇知識ほか）
6	２級学習 対人技能 ③（話し方ほか）
7	２級学習 対人技能 ④（服装ほか）
8	２級学習 実務技能 ①（問題処理ほか）
9	２級学習 実務技能 ②（環境整備ほか）
10	２級学習 実務技能 ③（金品管理ほか）
11	２級学習 実務技能 ④（金品搬送ほか）
12	２級学習 実務技能 ⑤（社交業務ほか）
13	準１級 基本言動 ①（入室ほか）
14	準１級 基本言動 ②　（企業連携）
15	準１級 基本言動 ③（企業連携）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	演習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストそ(　40 %	実技試験と期末試験の総合判定
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	サービス接遇検定 11月検定目標2級合格	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	サービス接遇ⅡA							学期	前　期
担当教員	髙野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド１級								

週数	授業計画
1	準1級 接客応答
2	準1級 接客応答
3	準1級 接客応答
4	準1級 接客対応
5	準1級 接客対応
6	準１級検定対策総仕上げ
7	１級 サービススタッフの資質
8	１級 専門知識（サービス知識）
9	１級 専門知識（サービス知識）
10	１級 専門知識（サービス知識）
11	１級 専門知識（従業知識）
12	１級 専門知識（従業知識）
13	１級 一般知識（社会常識）
14	１級 一般知識（社会常識）
15	１級 一般知識（社会常識）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	演習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストそ(　40 %	実技試験と期末試験の総合判定
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他	サービス接遇検定 検定目標　8月準1級　11月１級合格	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	サービス接遇ⅡB							学期	後　期
担当教員	髙野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド１級								

週数	授業計画
1	１級 対人技能（人間関係ほか）
2	１級 対人技能（人間関係ほか）
3	１級 対人技能（人間関係ほか）
4	１級 対人技能（接遇知識ほか）
5	１級 対人技能（接遇知識ほか）
6	１級 対人技能（接遇知識ほか）
7	１級 実務技能　（問題処理ほか）
8	１級 実務技能　（問題処理ほか）
9	１級 実務技能　（問題処理ほか）
10	１級 実務技能　（金品搬送ほか）
11	１級 実務技能　（金品搬送ほか）
12	１級 実務技能　（金品搬送ほか）
13	１級検定対策講義
14	１級検定対策講義
15	１級検定対策講義

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	演習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストそ(　40 %	実技試験と期末試験の総合判定
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他	サービス接遇検定 11月 検定目標１級合格	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	フラワーアレンジメントⅡA							学期	前　期
担当教員	井波 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	婚礼で必要な知識としてブライダルシーンでのフラワーアレンジやブーケの基本テクニックを習得する								
授業内容	フラワーアレンジメントの歴史や基本的な技法を知りブライダルシーンでのアレンジやブーケを製作								
学習目標	様々な花の種類に合ったアレンジができるようになる								
使用テキスト	オリジナルテキスト								

週数	授業計画
1	ファンデーションワークとミニブーケ（生花）
2	ファンデーションワークとミニブーケ（生花）
3	ラウンドアレンジ（生花）
4	ラウンドアレンジ（生花）
5	ラウンドアレンジ（プリザ）
6	ラウンドアレンジ（プリザ）
7	ワイヤリング＆テーピング コサージ作り（生花）
8	ワイヤリング＆テーピング コサージ作り（生花）
9	ラウンド花束・スパイラル（生花）
10	ラウンド花束・スパイラル（生花）
11	ギフトアレンジ BOXフラワー（生花）
12	ギフトアレンジ BOXフラワー（生花）
13	キャンドルフラワー（生花）
14	キャンドルフラワー（生花）
15	パーティーフラワー（生花）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	
	2. 授業姿勢　30 %	
	3. テストそ(　40 %	
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ブライダルビューティＩA							学期	前　期
担当教員	宮西 和孝	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	基本的テクニックを身を学習する								
授業内容	道具の使い方について学ぶ								
学習目標	基本的テクニックを実際に体験し理解する								
使用テキスト	必要に応じてプリント配布								

週数	授業計画
1	オリエンテーション 道具の確認
2	道具の使い方 ① アイロン
3	道具の使い方 ② ブラシ・ピン・ゴム
4	基本練習 ① ポニーテール
5	基本練習 ② ポンパドール
6	基本練習 ③ 編み込み
7	基本練習 ④ 付け毛
8	スタイル作り ① シニヨン
9	スタイル作り ② トップ
10	スタイル作り ③ サイド
11	スタイル作り ④ バック
12	ブライダルスタイル ①
13	ブライダルスタイル ②
14	ブライダルスタイル ③
15	実技試験

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　40 %	課題の提出、出来栄え
	2. 授業姿勢 30 %	忘れ物の状態 受講態度 出席率
	3. テストそ(30 %	理解度
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ブライダルビューティＩB							学期	後　期
担当教員	高桑 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	メイクの基礎を学習する								
授業内容	メイクの知識と技術を学ぶ								
学習目標	メイクの楽しさを実感し、メイクの必要性を理解する								
使用テキスト	プリント配布								

週数	授業計画
1	メイクの基礎知識
2	顔の造形理論
3	アイブロウスタイリング
4	ベースメーキャップ基本
5	ベースメーキャップ応用
6	ポイントメーキャップの基本・応用
7	相モデルでメーキャップ練習① ナチュラル
8	相モデルでメーキャップ練習② ナチュラル
9	相モデルでメーキャップ練習③ キュート
10	相モデルでメーキャップ練習④ キュート
11	相モデルでメーキャップ練習⑤ クール
12	相モデルでメーキャップ練習⑥ クール
13	確認テスト
14	イメージメイク作り①
15	イメージメイク作り②

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	
	2. 授業姿勢 30 %	
	3. テストそ(40 %	
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　1　年

科 目 名	ホテルブライダルマーケティングＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とす								
授業内容	ワークを通して観光業のマーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								

週数	授業計画
1	マーケティングとは活動の種類や効果について
2	観光業におけるマーケティングとは何か
3	観光業におけるＳＷＯＴ分析
4	観光業におけるＳＷＯＴ分析
5	観光業におけるＳＷＯＴ分析
6	観光業におけるＳＴＰマーケティング
7	観光業におけるＳＴＰマーケティング
8	観光業における４Ｃ（観光地や観光コース、イベント）
9	観光業における4C（観光地や観光コース、イベント）
10	観光業における4C（観光地や観光コース、イベント）
11	フィールドワーク
12	フィールドワーク
13	観光業をマーケティングの理論に基づき分析
14	観光業をマーケティングの理論に基づき分析
15	観光業をマーケティングの理論に基づき分析

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿勢　30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。
	3. テストそ　40 %	発表内容、総括記録、各自実施レポート
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　2　年

科 目 名	ホテルブライダルマーケティングⅡA							学期	前　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とす								
授業内容	ワークを通して観光マーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								

週数	授業計画
1	富山県を訪れる外国人に好まれる観光プラン作成
2	富山県を訪れる外国人に好まれる観光プラン作成
3	富山県を訪れる外国人に好まれる観光プラン作成
4	イノベーションとは
5	イノベーションとは
6	フィールドワーク
7	フィールドワーク
8	インバウンド対策を考えた観光プランの作成とコース分析
9	インバウンド対策を考えた観光プランの作成とコース分析
10	観光プランのプレゼンテーション作成
11	観光プランのプレゼンテーション作成
12	観光プランのプレゼンテーション発表
13	観光プランのプレゼンテーション発表
14	観光プランのプレゼンテーション発表
15	観光プランのプレゼンテーション　振り返り

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿勢　30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。
	3. テストそ　40 %	発表内容、総括記録、各自実施レポート
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　2　年

科 目 名	ホテルブライダルマーケティングⅡB							学期	後　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とす								
授業内容	ワークを通して観光マーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								

週数	授業計画
1	富山県の観光地の再体験
2	富山県の観光地の再体験
3	富山県と海外観光地の違いについて （客層・STP・4P・4C）
4	富山県と海外観光地の違いについて （商品アイデア・方法）
5	富山県と海外観光地の違いについて （食・生活週間・言語・国民性・経済・宗教）
6	富山県と海外観光地の違いについて （歴史・特産品・伝統・行事・宿泊施設・SNS活用）
7	富山県と海外観光地の違いについて ビジネスモデル（商流・キーマン）
8	富山県の観光に関する課題と分析
9	1年前期に作成した観光プランの再構築
10	SWOT分析チェック
11	商品・サービス差別化
12	観光プランを英語でプレゼンテーション
13	観光プランを英語でプレゼンテーション
14	プレゼンテーション発表
15	プレゼンテーション振返り

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿勢　30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。
	3. テストそ　40 %	発表内容、総括記録、各自実施レポート
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	色彩ＩＡ							学期	前　期
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	基本的な色彩理論を学習する								
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものかを学ぶ								
学習目標	色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定３級テキスト、色彩検定３級問題集、色彩検定過去問題集								

週数	授業計画
1	自己紹介、カラーカードを貼る
2	自己紹介、カラーカードを貼る
3	カラーカードを貼る
4	カラーカードを貼る
5	カラーカードを貼る
6	色のはたらき
7	色のはたらき
8	光と色
9	光と色
10	眼のしくみ
11	眼のしくみ
12	混色
13	混色
14	色の三属性
15	色の三属性

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　50 %	レポート、小テスト結果等を評価する
	2. 授業姿勢　30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する
	3. テストそ(　20 %	期末テスト結果を評価する
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	AFT色彩検定３級進行状況により変更する場合があります。	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	色彩ＩＢ							学期	後　期
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	基本的な色彩理論を学習する								
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものかを学ぶ								
学習目標	色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定３級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								

週数	授業計画
1	PCCSの理解と色彩調和
2	PCCSの理解と色彩調和
3	色彩心理
4	色彩心理
5	配色イメージ
6	配色イメージ
7	ファッションと色彩
8	ファッションと色彩
9	インテリアと色彩
10	インテリアと色彩
11	慣用色名
12	慣用色名
13	検定に向けての学習
14	検定に向けての学習
15	検定に向けての学習

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　50 %	レポート、小テスト結果等を評価する
	2. 授業姿勢　30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する
	3. テストそ(　20 %	期末テスト結果を評価する
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	AFT色彩検定３級進行状況により変更する場合があります。	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ウエディングスビューティフルＩＡ							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1
学習目的	ウエディング業界で必要な婚礼の専門知識と心得を学習する								
授業内容	ウエディング業界で働くために必要なメンタルパワーや婚礼の歴史，慣習を学ぶ								
学習目標	ウエディングの現場で必要な専門知識やマナーを理解する								
使用テキスト	ウエディングスビューティフルＡコース～Ｄコース								

週数	授業計画	事前・事後の学習
1	第1章 ビジネスプランの展開 挙式	
2	第2章 ビジネスプランの展開 挙式	
3	第2章 メンタルパワー 目標設定の大切さ	
4	第2章 メンタルパワー 成功の可能性を広げる	
5	第3章 結婚式の専門的知識 プランナーの役割	
6	第3章 結婚式の専門的知識	
7	第4章 コミュニケーションスキルの向上	
8	第4章 効果的な話し方	
9	第5章 結婚式の慣習	
10	第5章 まとめ レポート	
11	第6章 本当の自分 自己分析 肯定的な性質と否定的な性質	
12	第6章 本当の自分 自己分析 他者から見た自分	
13	第7章 テーブルトップとテーブルウェア	
14	第8章 テーブルトップとテーブルウェア	
15	まとめ	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　50 %	まとめ レポート 課題
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況・授業態度・言葉づかい
	3. テストその他　20 %	理解度確認テスト
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	ＷＢＷ認定ウエディングスペシャリストディプロマ	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ウエディングスビューティフルＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ウエディング業界で必要な婚礼の専門知識と心得を学習する								
授業内容	ウエディング業界で働くために必要なメンタルパワーや婚礼の歴史，慣習を学ぶ								
学習目標	ウエディングの現場で必要な専門知識やマナーを理解する								
使用テキスト	ウエディングスビューティフルＡコース～Ｄコース								

週数	授業計画	事前・事後の学習
1	8章 挙式	
2	8章 挙式	
3	9章 結婚式の演出	
4	10章 結婚式の演出	
5	10章 結婚式の伝統や慣習	
6	11章 結婚式の伝統や慣習	
7	11章 マネジメントスキルの向上	
8	12章 マネジメントスキルの向上	
9	12章 ビジネスフォーム	
10	13章 ウエディングファッション	
11	14章 ウエディングファッション	
12	14章 披露宴	
13	15章 披露宴	
14	15章 招待状	
15	まとめ	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　50 %	まとめ レポート 課題
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況・授業態度・言葉づかい
	3. テストその他　20 %	理解度確認テスト
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　1年

科 目 名	表現力ＩＢ							学期	後　　期
担当教員	長谷川万葉	科目区分		授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	お客様にとってホテルやブライダルは、日常を忘れて感動と笑顔を呼ぶ夢の世界である。その非日常をより良いものとするために接客スキル向上のひとつとして、お客様を楽しませ喜ばせるパフォーマンススキルとマインドを学ぶ。								
授業内容	接客に必要な基本動作、演劇、ダンス、歌唱、司会、その他。								
学習目標	お客様に楽しんでいただき笑顔にするパフォーマンススキルとマインドを身に付ける。人前でも物怖じせず堂々と演じ振舞えるよう経験を積む。ホテルやブライダルの業務の中で、自分の与えられた役割を演じ切る集中力を養う。								
使用テキスト	なし。必要に応じて、オリジナルテキストを用意。								

週数	授業計画
1	イントロダクション～授業内容の説明。
2	接客に必要な基本動作を学ぶ
3	話し方①
4	話し方②
5	話し方③
6	パフォーマンス演習①
7	パフォーマンス演習②
8	パフォーマンス演習③
9	パフォーマンス演習④
10	パフォーマンス演習⑤
11	中間発表
12	シーンスタディ①
13	シーンスタディ②
14	シーンスタディ③
15	グループ発表・個人発表

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　40 %	授業内での課題（実技やワーク）に対して、①積極的、意欲的な参加　②失敗を恐れず前向きに挑戦する姿勢　③チームで協力し合う姿勢 以上の観点から評価する。
	2. 授業姿勢　30 %	①欠席・遅刻　②挨拶・授業態度　③提出物 以上の観点から評価する。
	3. テストその他　30 %	個人発表、グループ発表等。発表の出来、そこに至るまでの過程、取り組み姿勢を総合的に評価する。
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗状況、理解度を考慮したうえで、授業の実施順、内容を変更する場合あり。	

ホテル・ブライダル 学科　　2　年

科 目 名	インターンシップ海外（ⅡＢ）							学期	後　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	選択必修	単位数	１０
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とす								
授業内容	オーストラリアでのワーキングホリデーと観光を通して課題を進める								
学習目標	富山県とオーストラリアの観光地を体験、考察し新たな観光プランを創出する								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	ワーキングホリデー
2	ワーキングホリデー
3	ワーキングホリデー
4	ワーキングホリデー
5	ワーキングホリデー
6	ビジネスモデルとはいろいろな業界のビジネスモデルについて
7	観光業の商品（サービス）の構成
8	売上・経費・利益の仕組み
9	利用者の分析（利用者の属性）
10	観光スポット体験
11	観光スポット体験
12	アクティビティ体験
13	アクティビティ体験
14	オーストラリアの観光スポットやアクティビティの分析
15	オーストラリアの観光スポットやアクティビティの分析

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　７０ ％	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿勢　30 ％	言葉づかい、態度、マナー
	3. テストそ(０　％	
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　2　年

科 目 名	インターンシップ国内（ⅡＢ）							学期	後　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	選択必修	単位数	4
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする。								
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する。								
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　70 %	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿勢 30 %	言葉づかい、態度、マナー
	3. テストその他　%	
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	ICT演習ⅡA						学期	前　期
担当教員	南 貴文	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数 1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。							
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける							
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。							
使用テキスト	全学科：30時間でマスター Excel2013（Windows8対応）インターナショナルを除く学科：日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト＆問題集 Microsoft Excel 2013対応　日商PC検定試験 知識科目 3級 公式試験問題集（文書作成・データ活用・プレゼン資料作成））							

週数	授業計画
1	第1章Excelの基礎知識
2	第2章Excel入門
3	第3章ワークシートの活用（１）
4	第3章ワークシートの活用（１）
5	第3章ワークシートの活用（１）
6	第4章ワークシートの活用（２）　セルの絶対参照
7	第4章ワークシートの活用（２）　セルの絶対参照
8	第4章ワークシートの活用（２）　端数処理
9	第4章ワークシートの活用（２）　端数処理
10	第4章ワークシートの活用（２）　IF関数
11	第4章ワークシートの活用（２）　IF関数
12	第5章グラフ（１）
13	第5章グラフ（２）複合グラフ
14	第７章データベース オートフィルタ・並べ替え
15	第７章データベース オートフィルタ・並べ替え

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　40 %	各授業における課題提出（期限厳守）　確認テスト結果
	2. 授業姿勢 30 %	授業への積極参加 クラスへの協力度 教科書、パソコンその他忘れ物の有無
	3. テストそ(30 %	検定を受験する学科は検定結果 受験しない学科はテスト結果
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他		

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　2　年

科 目 名	ICT演習ⅡB							学期	後　期
担当教員	南 貴文	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	全学科：30時間でマスター Excel2013（Windows8対応）インターナショナルを除く学科：日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト＆問題集 Microsoft Excel 2013対応 日商PC検								

週数	授業計画
1	前期範囲の復習
2	日商PC検定3級の概要・演習問題
3	日商PC検定3級の概要・演習問題
4	日商PC検定3級の概要・演習問題
5	日商PC検定3級の概要・演習問題
6	日商PC検定3級の概要・演習問題
7	日商PC検定3級の概要・演習問題
8	日商PC検定3級受験
9	第7章データベース ※ピボットテーブル追加
10	第8章Excelの応用 VLOOKUP・HLOOKUP・INDEX
11	第8章Excelの応用 データベース関数・条件付き集計
12	日商PC検定3級対策
13	日商PC検定3級対策
14	日商PC検定3級対策
15	日商PC検定3級対策

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1．課　題	40 %	各授業における課題提出（期限厳守） 確認テスト結果
	2．授業姿勢	30 %	授業への積極参加 クラスへの協力度 教科書、パソコンその他忘れ物の有無
	3．テストその	30 %	検定を受験する学科は検定結果 受験しない学科はテスト結果
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		

目標検定・課外授業実施予定・その他	日商PC検定データ活用3級

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　1　　年

科 目 名	表現力ＩＡ							学期	前　　期
担当教員	長谷川万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類		単位数	1
学習目的	学習と通して人との関わり合いを体験し、より良いリレーションを築く。社会において活用できるコミュニケーション能力やソーシャルスキルを身に付ける。 「人と対話できる」「チームで協働できる」「相手に伝わる表現力を持ち、人前で堂々と発表できる」「社会において自分らしさを発揮しつつ、より良い集団づくりに貢献できる」ことを目指す。								
授業内容	コミュニケーショントレーニングや演劇的手法を取り入れたワーク（インプロ、シアターゲーム）、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウンター等、様々な グループワークを通して、コミュニケーションを実践的に楽しく学ぶ。								
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心等、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体を育てる。 人と関わり合うことの楽しさを学び、自らのコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力等、人前でも堂々と発表できるような素地をつくる。								
使用テキスト	適宜、プリントを配布。								

週数	授業計画
1	イントロダクション～授業内容の説明　自己分析と目標設定
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング
3	雑談トレーニング
4	対話と傾聴トレーニング
5	相手に伝わる話し方トレーニング
6	個人発表　SHOW＆TELL
7	コンテンポラリーダンス～言葉のいらないコミュニケーションを体験する
8	インプロ（即興演劇）～「Yes、And」思考を体験する
9	インプロ（即興演劇）～チーム全員でゼロから創造する
10	ディスカッション
11	ディベート
12	スピーチ
13	スピーチ
14	個人発表
15	まとめ

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1．課　題　40 %	授業内での課題（実技やワーク）に対して、①積極的、意欲的な参加　②失敗を恐れず前向きに挑戦する姿勢　③チームで協力し合う姿勢 以上の観点から評価する。
	2．授業姿勢　30 %	①欠席・遅刻　②挨拶・授業態度　③提出物 以上の観点から評価する。
	3．テストその他　30 %	個人発表、グループ発表等。発表の出来、そこに至るまでの過程、取り組み姿勢を総合的に評価する。
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗状況、理解度を考慮したうえで、授業の実施順、内容を変更する場合あり。	

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　1　年

科 目 名	就職支援ＩＡ							学期	前　期
担当教員	AD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	働くことの意義と重要性について考える。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								

週数	授業計画
1	【オリエンテーション】 「何のために働くのか」「社会人としての心構え」「学生と社会人の違い」について（グループワーク）
2	非認知能力の重要性、学科が目指す非認知能力について （学修到達度自己評価ヒアリングシート）
3	働くことの責任と意義（グループワーク）
4	【意識は行動の原点】 仕事の基本となる8つの意識について学ぶ（グループワーク）
5	会社の仕事の決まりやしくみを理解する（グループワーク）
6	人間関係とコミュニケーション（グループワーク） 非認知能力の振り返り自己分析①（学修到達度自己評価ヒアリングシート）
7	ビジネスマナーの基本
8	ビジネス文書「報告書の書き方」
9	【礼儀としての身だしなみ】 スーツ着こなしセミナー
10	インターンシップの事前授業
11	仕事の進め方（5W2H）（PDCA）と報告・連絡・相談
12	指示の受け方と「報告、連絡、相談」の重要性とポイントを知る。
13	業界研究、企業研究、インターンシップ先検討
14	インターンシップに向けての自己分析（エントリーシート作成）
15	インターンシップに向けての目標設定

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出
	2. 授業姿勢　30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出
	3. テストその他　30 %	確認テスト結果より算出
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　1　年

科 目 名	就職支援ＩＢ							学期	後　期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								

週数	授業計画
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る
2	インターンシップの振り返り
3	非認知能力の振り返り②（学修到達度自己評価ヒアリングシート）
4	業界・職業研究
5	企業研究
6	自己分析講座
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座
8	履歴書作成の実践①
9	履歴書作成の実践②
10	採用試験について（書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など）
11	適性検査能力試験　模擬受験、Web性格診断
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」（外部講師）
14	面接対策講座
15	非認知能力の振り返り自己分析③（学修到達度自己評価ヒアリングシート）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出
	2. 授業姿勢　30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出
	3. テストその他　30 %	確認テスト結果より算出
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　2　年

科 目 名	就職支援ⅡA							学期	前　期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	自己の将来を明確にし、希望職への内定を目指す。								
授業内容	採用試験対策や採用試験の振り返りを行う。								
学習目標	グループワークを通して、様々な価値観に触れ、お互いの価値観の違いを認め受容する中で、対人関係力を身につける								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								

週数	授業計画
1	【オリエンテーション】 「目指す職業」「卒業後の自分」について自己分析する（ライフプラン）
2	模擬面接①
3	模擬面接②
4	会社は自分のキャリア形成の場、自分のビジネスキャリアは自分で作る
5	ビジネス会話の基本
6	非認知能力の振り返り自己分析④（学修到達度自己評価ヒアリングシート）
7	不満やクレームを防ぐ方法、再発防止について（グループワーク）
8	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ①　（グループワーク）
9	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ②　（グループワーク）
10	【マネジメントの基本】 PDCAサイクル、目標から計画を立てる
11	【マネジメントの基本】 計画の重要性について学び採用試験後の振り返りと対策の重要性について知る
12	採用試験の振り返り
13	採用試験の振り返り
14	企業説明会
15	企業説明会

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出
	2. 授業姿勢　30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出
	3. テストその他　30 %	確認テスト結果より算出
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル･ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	データマーケティングＩＡ							学期	前　　期
担当教員	渡辺	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。								
授業内容	ビッグデータの分析や活用方法をPOSデータやドルフィンアイ、RESASなどを用いて学ぶ。								
学習目標	マーケティングの基礎知識を習得し、専門用語が理解できる。基本的手法や技法を、具体的事例に当て嵌めて考えることができる。								
使用テキスト	データマーケター養成講座　初級編								

週数	授業計画
1	オリエンテーション ・講座の進め方と受講の心構えについて ・講座の目的とゴール（販売業を機軸にDMの基本を学ぶ） ・用語の説明 ・データマーケターとは
2	ビッグデータとは ・ビッグデータとは ・ビッグデータの利用・背景・活用 ・小売業を取り巻く環境の変化
3	データ活用 ・データ活用のステップ ・データの種類（自社データ・公的データ・民間データ） ・データから何が読み取れるか？データの見方の視点 ・RESAS、ウレコンの使い方
4	エクセルハンズオン① グラフの作成 ・データマーケティングに必要なEXCEL操作（グラフ作成） ・グラフの種類とそれぞれの使い方を知る ・〈PW〉ウレコンの表を選びグラフが何を示しているかをパートナーに説明する。
5	実習 ① ・〈ワーク&GW〉ウレコン、ドルフィンアイを使用する。 ドルフィンアイから、データをダウンロードする。 折れ線グラフを作成し、その折れ線グラフから読み取れることをグループで協議、共有して全体に発表する
6	エクセルハンズオン②　散布図と相関 ・散布図の作り方　・相関係数の意味　・相関と因果 ・〈ワーク〉ドルフィンアイからダウンロードしたデータで相関係数を出して、2つの事項に相関があるか判断する
7	企画提案のための思考法 ・利用者への共感から問題の理解 ・問題解決のためのアイディア出し（ブレインストーミング） ・試作品の提出とフィードバックの収集
8	データ活用と各業界 ・データの利用といろいろな業界を紹介する。 ・小売をベースに講座が進行しているが、その他の業界でもデータ活用がこれからのマーケティングの基礎になることを知る。 ・フィールドワーク（宿題）の説明
9	POSデータ ① ・POSデータとはなにか　・POSデータ分析の重要性　・〈ワーク〉ロコミサイトとPOSデータ ・POSデータの分析の方法と準備
10	POSデータ ② ・POSデータの比較 ・POSデーから見えること① ・〈PW〉POSデータのサンプルからどの数字に注目するか？
11	POSデータ ③ ・POSデータから見えること② ・〈PW〉折れ線グラフから何が読み取れるか？ ・売上げと価格
12	フィールドワークの発表 ・事前に課題として与えておいた近所のドラッグストアやスーパーの調査（どんなものが売っているか？どんな売り場構成をしているか？競合店舗はあるか？など）を発表する。
13	実習 ② ・〈GW〉サンプルデータを分析してグラフ作り、売れ行きのよいカテゴリはなにかを見つける。グループ内で協議・共有して、そのカテゴリを見つけたポイントや特徴はなにかを発表する。
14	実習 ③ ・〈GW〉サンプルデータを分析して売り場に何を置いたらよいかを選定し、全体に発表する。他グループの差を見つけ、選定方法や方針の違いについてディスカッションを行なう。
15	実習 ③ ・〈GW〉サンプルデータを分析して売り場に何を置いたらよいかを選定し、全体に発表する。他グループの差を見つけ、選定方法や方針の違いについてディスカッションを行なう。

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	ワークシート等の状況を評価する。 レポート等の状況を評価する。
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況、発言の積極性 、授業に取り組む姿勢、 締め切りの厳守を評価する。
	3. テストその他　40 %	プレゼン 発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･その他		

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　2　年

科 目 名	課題解決チャレンジⅡB							学期	後　期
担当教員	常勤	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	他分野の学生と合同グループによる様々な観点からの課題解決案の作成を通してクリエイティビティを養う								
授業内容	提示された課題に対してグループで協力しながら解決案を作成し、発表又は動画を作成する								
学習目標	企業が提示する課題にチャレンジし、5コマ以内に課題解決案を1つ以上作成することができるようになる								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	イントロダクションとプロジェクトの概要
2	企業課題の分析と理解/プロジェクトチームの形成と役割の分担
3	解決策の構想とブレインストーミング
4	解決策の詳細な計画立案
5	課題解決成果物の作成
6	企業課題の分析と理解/プロジェクトチームの形成と役割の分担
7	解決策の構想とブレインストーミング
8	解決策の詳細な計画立案
9	課題解決成果物の作成
10	企業課題の分析と理解/プロジェクトチームの形成と役割の分担
11	解決策の構想とブレインストーミング
12	解決策の詳細な計画立案
13	課題解決成果物の作成
14	プロジェクトの振り返りと学びの共有
15	成果のまとめと個人的な成長の振り返り

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　40 %	ワークシート等の状況を評価する。 レポート等の状況を評価する。
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況、発言の積極性 、授業に取り組む姿勢、 締め切りの厳守を評価する。
	3. テストその他　30 %	プレゼン 発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	データマーケティングＩＢ							学期	後　　期
担当教員	渡辺	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。								
授業内容	データマーケティングの基礎をおさえ、ドルフィンアイ等のビッグデータを活用し、データの分析を行う。								
学習目標	マーケティングにおけるデータの取り扱いについて学び、実際の事例やデータを題材にして、仮設を立て分析することができる。								
使用テキスト	データマーケター養成講座　初級編								

週数	授業計画
1	マーケティングの基礎① ・マーケティングとはなにか ・マーケティング1.0~4.0 ・マーケティングの4P
2	ID-POSデータ ① ・ID-POSデータとはなにか ・POSデータとID-POSデータの違い ・ID-POSデータから見えること①
3	ID-POSデータ ② ・売上げを構成する要素（因数分解）① ・〈ワーク〉売上げ分解ツリーを作ってみよう
4	ID-POSデータ ③ ・購入率とリピート率 ・売れ続ける商品
5	マーケティングの基礎② ・これからのマーケティング
6	ID-POSデータ ④ ・併売とはなにか（考え方の基礎） ・リフト値 ・〈ワーク〉リフト値を求めてみよう
7	実習 ④ ・〈ワーク&GW〉RESASに触れてみる。ドルフィンアイを駆使してテーマに沿ったデータを探し、仮説をたて、グループとして発表する。
8	外部データの利用 ① ・外部データとはなにか ・気象データの利用
9	外部データの利用 ② ・〈ワーク&GW〉サンプルデータから商品を確定し、どうしてその商品に決めたのかを協議・発表する。 ・ウェザーマーチャンタイジング ・商品前線
10	実習 ⑤ ・〈ワーク&GW〉外部データを利用した売り出し時期の選定
11	マーケティングの基礎③ ・代表値について(平均・中央値・最頻値) ・〈GW〉ペルソナを作ってみる
12	課題発見と提案 ① ・〈ワーク&GW〉与えられたデータを分析し、ペルソナを作成して課題を解決する。
13	課題発見と提案 ② ・〈GW〉分析のまとめを行い、発表準備にとりかかる（発表用の模造紙作成とグループ内での発表の予行演習）
14	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対するコメント
15	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対するコメント

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	30 %	ワークシート等の状況を評価する。 レポート等の状況を評価する。
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況、発言の積極性 、授業に取り組む姿勢、 締め切りの厳守を評価する。
	3. テストその他	40 %	プレゼン 発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他			

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　2　年

科 目 名	課題解決チャレンジⅡA							学期	前　期
担当教員	常勤	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	他分野の学生と合同グループによる様々な観点からの課題解決案の作成を通してクリエイティビティを養う								
授業内容	提示された課題に対してグループで協力しながら解決案を作成し、発表又は動画を作成する								
学習目標	企業が提示する課題にチャレンジし、5コマ以内に課題解決案を1つ以上作成することができるようになる								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	イントロダクションとプロジェクトの概要
2	企業課題の分析と理解/プロジェクトチームの形成と役割の分担
3	解決策の構想とブレインストーミング
4	解決策の詳細な計画立案
5	課題解決成果物の作成
6	企業課題の分析と理解/プロジェクトチームの形成と役割の分担
7	解決策の構想とブレインストーミング
8	解決策の詳細な計画立案
9	課題解決成果物の作成
10	企業課題の分析と理解/プロジェクトチームの形成と役割の分担
11	解決策の構想とブレインストーミング
12	解決策の詳細な計画立案
13	課題解決成果物の作成
14	プロジェクトの振り返りと学びの共有
15	成果のまとめと個人的な成長の振り返り

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　40 %	ワークシート等の状況を評価する。 レポート等の状況を評価する。
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況、発言の積極性 、授業に取り組む姿勢、 締め切りの厳守を評価する。
	3. テストその他　30 %	プレゼン 発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		